

【コメント回答状況リスト】 福島第一原子力発電所1号及び2号機使用済燃料貯蔵槽の水位に関する緊急時活動レベル判断基準の妥当性について

No.	回答状況	コメント内容	コメント受領日	回答内容	資料等への記載箇所	回答日又は回答予定日	回答結果
1	2:回答予定	SFPへの注水戦術について、下記の項目を整理すること ・注水手段の選定方法（順番） ・所要時間	2022/8/24	SFP補給方法と補給までの所要時間について記載しました。	2022/10/13説明資料 P6 6. 表-3	2022/10/13	
2	2:回答予定	SFPから漏えいがあった場合のスキマーサージタンクの下がり具合はどのような挙動となり、どのくらいの時間で運転員が気づくのか説明すること	2022/8/24	1号機及び2号機ともにSFP漏えい開始から警報発生により運転員が気づくまで20分～40分程度の時間を要することから、40分後に気付くという想定でタイムチャートを見直しました。	2022/10/13説明資料 P2 3.(1)c)③ P4 3.(2)c)③ P13 添付資料6 P17 添付資料10	2022/10/13	
3	6:回答困難	SFP漏えい時の建屋滞留水水位の上昇の時間遅れについて定量的に説明すること 降雨による建屋滞留水水位上昇の実績等の実績があるのではないか	2022/8/24	SFP漏えいから建屋滞留水水位上昇の時間遅れを定量的に示すことは困難で、降雨の実績についても明確にお示しできるデータは有りませんでした。	-	2022/10/13	
4	2:回答予定	SFPプールの容積にはプール内部の構造物を除いているか	2022/8/24	プール内の構造物を考慮して水位低下グラフを作成し、EAL到達時間を評価しております。	2022/10/13説明資料 P3 3.(1)c) P4 3.(2)c) P12 添付資料5 P16 添付資料9	2022/10/13	
5	2:回答予定	の漏えい量の妥当性について説明すること	2022/8/24	を超える漏えいの可能性について追記しました。	2022/10/13説明資料 P4 4.	2022/10/13	
6	2:回答予定	大漏えいの想定は青天井となるため、文章でロジックを整理すること	2022/8/24	大漏えいの想定については不要である旨を記載しました。	2022/10/13説明資料 P4 4.	2022/10/13	
7	2:回答予定	の漏えいのケーススタディは、安心材料を説明すること	2022/8/24	の漏えいはAL31にまでに間に合うこと、 の漏えいでもSE31までには間に合うことを追記しました。	2022/10/13説明資料 P5 4.	2022/10/13	
8	2:回答予定	EALが間に合わないケースにおいても、燃料は損傷しないという説明を加えること	2022/8/24	SFPの水が抜けきったとしても燃料損傷には至らないことを追記しました。	2022/10/13説明資料 P5 4.	2022/10/13	